

私立大学図書館協会 2007 年度第 2 回東西合同役員会議事要録

日 時：2008 年 3 月 7 日（金） 午後 14 時 00 分～午後 16 時 40 分

場 所：中央大学 駿河台記念館 510 号室

出席者：出席者名簿(p. 1) 参照

議事に先立ち、会長校挨拶の後、出席者の自己紹介が行われた。

議事進行は、古城利明中央大学図書館長が担当した。

<報告事項>

1. 会務報告

(1) 協会加盟校数について

会長校中央大学（荒木）より、配付資料（p. 4）に基づき報告があった。

①2007 年度加盟校数は、2008 年 3 月 7 日現在、東地区 252 校、西地区 254 校、合計 506 校である。

②2008 年度新規加盟校（予定）は、東地区 1 校、西地区 1 校、合計 2 校である。また、1 校からも加盟したいとの連絡が来ている。

③2008 年度加盟校数（予定）は、東地区 253 校、西地区 255 校、合計 508 校になる予定である。

(2) 総会・研究大会について配付資料（p. 4, 5）に基づき報告があった。

(3) 東西合同役員会について配付資料（p. 5）に基づき報告があった。

(4) 常任幹事会について配付資料（p. 6）に基づき報告があった。

(5) 未加盟校への勧誘について

会長校中央大学（荒木）より、配付資料（p. 7）に基づき、本協会未加盟校に対して、会長校より資料を 10 月 10 日付で送付し、加盟についての案内を行ったとの報告があった。

(6) 加盟校への書類等の送付について

前回の東西合同役員会以降に配付資料（p. 7, 8）のとおり、計 6 回書類等を加盟大学図書館宛に送付し、協会ホームページでも周知を行なったとの報告があった。また、口頭で 3 月 5 日付で「大学図書館間協力における資料複製に関する合意書」に関する資料を送付したと報告があった。例年同封する「大学図書館間協力における資料複製に関する利用許諾契約書」の更新にかかわる周知についての案内は、4 月 1 日付で送付する会費の請求書に同封すると説明があった。

(7) 協会会報の発行について

会長校中央大学（荒木）より、会報 128 号を 2007 年 9 月 8 日に刊行し、

会報 129 号は、2008 年 3 月刊行予定と報告があった。

2. 東地区部会報告

東地区部会長校帝京大学（中嶋）より、配付資料（p. 9-14）に基づき、2007 年 8 月から 2008 年 2 月までの東地区部会会務報告が行われた。

3. 西地区部会報告

西地区部会長校大阪学院大学（矢田部）より、配付資料（p. 15-26）に基づき、2007 年 8 月から 2008 年 2 月までの西地区部会会務報告が行われた。

4. 委員会報告

(1) 協会賞審査委員会報告

協会賞審査委員会委員長（早稲田大学：金子）から配布資料（p. 26）にもとづき報告が行われた。

(2) 研究助成委員会報告

研究助成委員会委員長（青山学院大学：熱田）から配布資料（p. 26）にもとづき報告が行われた。

(3) 国際図書館協力委員会報告

国際図書館協力委員会委員長（東京経済大学：丸本）から配布資料（p. 26-29）にもとづき報告が行われた。

(4) ホームページ委員会報告

ホームページ委員会委員長（駒澤大学：川越）から配布資料（p. 29-30）にもとづき報告が行われた。

5. 協会関連事項報告

会長校中央大学（荒木）から配布資料（p. 30-32）にもとづき報告が行われた。

6. 同一法人複数大学の加盟・会費について

会長校中央大学（荒木）より、配付資料（p. 32-33）に基づき、報告があった。

7. 1 大学複数加盟について

会長校中央大学（荒木）より、配付資料（p. 33-34）に基づき、報告があった。

8. 協会ホームページの加盟図書館名簿リニューアルについて

ホームページ委員会委員長（駒澤大学：川越）から当日配布の資料にもとづき報告が行われた。

今回のリニューアルは、名簿データの一元管理およびメンテナンスの簡素化を目的とし、会長校管理のデータ（access）をホームページ委員会で作成したプログラムにより処理し、そのデータを公開する形になっていることが報告された。リニューアルする画面のイメージについては調整中であることと、5 月上旬の本公開に向けた今後の予定について説明があった。

9. 2008 年度行事・会議予定について

会長校中央大学（荒木）より、配付資料（p. 35）に基づき、報告があった。

一部未定の日程もあるが、例年を踏襲していると説明がなされた。

東・西地区部会総会については日程が重複したため、会長校は分散して出席する。会長校の古城館長は西地区部会総会に出席する予定である。

10. その他

会長校中央大学（荒木）より、マスコミ各社から私立大学図書館の動向について取材を受けたことが報告された。

<協議事項>

1. 2007 年度一般会計・特別会計支出状況について

会長校中央大学（荒木）より、配付資料（p. 36-40）に基づき、2007 年度一般会計・特別会計支出状況（2 月 29 日現在）について提案説明があった。

協議の結果、異議なく了承された。

（主な説明）

〔一般会計〕「収入の部」

(1) 「会費」の予算額は、昨年度末の加盟校数 506 校を基礎数としており、「決算額」は、新規加盟校（10 校）を加えた会費収入である。

(2) 「その他」の 613,696 円は総会の残金として立教大学より返金された分である。

〔一般会計〕「支出の部」

(1) 事業費の内、「4. 会報刊行費」を除いては、決算確定数字である。

(2) 部会交付金の支出超過は、新規加盟校分を再交付した分である。

(3) IFLA 負担金の支出超過は、ユーロのレートにより生じたものである。

〔研究助成特別会計〕「支出の部」

(1) 研究助成の支出は、次年度繰越金が減ったことから、予算比減である。

〔国際図書館協力特別会計〕「収入の部」

(1) これまで、「国際図書館協力基金特別会計」となっていたが、国際図書館協力基金規程第 5 条に、「この基金は、国際図書館協力特別会計とする。」となっていることから、今後は、規程に合わせて表記することとした。

(2) 基金については、18 社に依頼し、2 月末現在で 11 社 115 万円である。委員会、役員校とも協力の上、来年度は増額したいと考えている。

〔国際図書館協力特別会計〕「支出の部」

(1) 国際図書館協力事業支援費、シンポジウム参加費、海外集合研修参加費については、確定後の数字を 4 月の常任委員会で報告する。

〔総会・研究大会特別会計〕「収入の部」

(1)参加者数については、単価を少し下げたが、人数はそれほど前年度と変わらなかった。

(2)インフォデスクについては、8社を予定していたが11社分の収入があった。

[総会・研究大会特別会計]「支出の部」

(1)残金は、支出が抑えられていたため、60万円程度の残金となり、一般会計に繰り入れている。残金の額の60万円は、ちょうど企業の参加費、インフォデスクを足した額に相当する。

(2)結果的に、会費の単価を下げたものの、参加者は例年と変わらず、企業の参加費、インフォデスク分が余った形となるため、次年度どうするかについては國學院大學と再考する。

2. 2008年度事業計画（案）について

会長校中央大学（荒木）より、配付資料（p.41-43）に基づき、提案があった。についてはこの事業計画で提案していきたいとの提案があった。

協議の結果、異議なく了承された。また、「加盟館」、「加盟校」、「加盟大学」といった呼称の混在については、会則に従い、「加盟校」に統一すると報告がなされた。

3. 第69回（2008年度）総会・研究大会について

次年度総会当番校國學院大學（古山）より、配付資料（p.44）に基づき、提案があった。主な変更点として、終了時間を17時から16時に早めたこと、午餐会を廃止し、役員校および表彰者・協賛企業との昼食会とすること、来賓を国立大学図書館協会会長校および公立大学協会図書館協議会会長校に代えて、国立情報学研究所を招待することが報告された。

4. 2008年度一般会計・特別会計予算（案）について

会長校中央大学（荒木）より、配付資料（p.45-47）に基づき、提案があった。2008年度9月の総会までは暫定執行となることを含めて、協議の結果、異議なく了承された。

（主な説明）

[一般会計]「収入の部」

(1)会費は、2007年度末の加盟校数506校で、2007年度実績で予算化した。

[一般会計]「支出の部」

(1)運営費は、2007年度支出見込みから事務費、印刷費を各5万円減額した。

(2)部会交付金は、@13,000×506校分として計上した。昨年度より10校分増額となる。

(3)名簿刊行費は簡素化したため、5万円減額した。

(4)協会HP有料サイト利用料は、契約内容の見直しにより、容量は30倍に増えたが、金額は減額となった。

(7) I F L A負担金は、退会するため予算額 0 円のはずだったが、I F L Aの規程上、当該年度に連絡があった場合、当該年度の翌年から退会となることから、予算化した。規程を無視することもできるが、国会図書館との関係もあり、支払うことにした。

[研究助成特別会計]「支出の部」

(1)08 年度予算の予備費が 5,466,676 円となっていたが、4,673,736 円が正しいので修正された。

[国際図書館協力特別会計]「収入の部」

(1) 事業収入は、シンポジウム 1 回分として参加費を計上した。

[国際図書館協力特別会計]「支出の部」

(1)シンポジウム運営費は、昨年 2 回開催として予算計上していたが、通常の 1 回に戻した。ただし、75 万円では運営が困難なため、委員長の要望により 90 万円と、これまでより 15 万円増額している。

(2)海外派遣研修については、今年度実績が約 75 万円であること、円安傾向であることを考慮し、前年度より 5 万円増額し、75 万円とした。

[総会・研究大会特別会計]

収入、支出とも前年度とほぼ同額を予算化した。

5. 2007 年度協会賞について

協会賞審査委員会委員長（金子）より、配付資料（p.48）および当日配布資料に基づき、提案があり、了承された。

6. 2008 年度研究助成について

研究助成委員会委員長（熱田）より、配付資料（p.48）および当日配布資料に基づき、提案があり、了承された。

7. 「会則」第 12 条、13 条役員校選出部分の対応について

会長校中央大学（荒木）より、配付資料（p.49）に基づき、提案があった。協議の結果、了承された。

8. I F L A退会について

会長校中央大学（荒木）より、配付資料（p.49）に基づき、提案があった。協議の結果、異議なく了承された。

<懇談事項>

1. 次期役員校、総会当番校、委員会委員の選出について

会長校中央大学（荒木）より、次期会長校、総会当番校の選出について、東・西各地区の選出状況の確認があった。

以上、すべての議事を終了し、議長が閉会を宣した。

<資料訂正>

<誤>

<正>

表紙	4行目	2007年3月7日	→	2008年3月7日
p.1	出席者名簿	西地区 京都地区先頭	→	西地区 東海地区先頭に入替
p.28	13行目	搬送個数 <u>24</u>	→	搬送個数 <u>16</u>
p.28	15行目	搬送個数 <u>30</u>	→	搬送個数 <u>20</u>
p.28	16行目	搬送個数 <u>30</u>	→	搬送個数 <u>32</u>
p.28	16行目	費用 <u>¥169,100</u>	→	費用 <u>¥158,550</u>
p.28	17行目	搬送個数 <u>106</u>	→	搬送個数 <u>90</u>
p.28	17行目	費用 <u>¥1,119,100</u>	→	費用 <u>¥1,108,550</u>
p.28	20行目	2008年3月 <u>1</u> 日(日)	→	2008年3月 <u>2</u> 日(日)
p.44	12行目	2006年度海外集合研修報告	→	2007年度海外集合研修報告
p.44	14行目	2006年度海外派遣研修報告	→	2007年度海外派遣研修報告
p.46	12行目	研究助成特別会計 支出の部	08年度予算 予備費	
		<u>5,466,676</u>	→	<u>4,673,736</u>
p.46	12行目	研究助成特別会計 支出の部	08年度予算 予備費 差異	
		<u>0</u>	→	<u>△792,940</u>
p.46	13行目	研究助成特別会計 支出の部	08年度予算 合計	
		<u>6,866,676</u>	→	<u>6,073,736</u>
p.46	13行目	研究助成特別会計 支出の部	08年度予算 合計 差異	
		<u>32,420</u>	→	<u>△760,520</u>
p.48	16行目	<u>課題</u> 研究	→	<u>共同</u> 研究
p.48	21行目	<u>共同</u> 研究	→	<u>機関</u> 研究
別紙資料	2008年度研究助成について(審査報告)			
p.2	17行目	<u>共同</u> 研究	→	<u>機関</u> 研究
p.2	下から3行目	10万円以上 <u>もの</u>	→	10万円以上 <u>のもの</u>
別紙資料	2007年度協会賞について(審査報告)			
	11行目	慶應創立	→	慶應 <u>義塾</u> 創立
	11行目	日本近代を代表する福澤諭吉		→日本近代を代表する <u>思想家・教育者である</u> 福澤諭吉
下から3行目	<u>採択理由</u> (ア) → 「 <u>申し合わせ事項</u> 」の採択可否のポイント (ア)			